東部・西部子どもホーム 「ラッピング教室」「工作教室」







 \mathcal{O} ル

"ことばのビル"は、はなしことばが 出る状態をビルの最上階に例えたと きに、そのビルを建てるためには土台 や1階、2階・・・にあたる、睡眠や 運動、こどもが楽しいと思う遊びなど の日々の生活の何気ない事柄の積み 重ねが大切だと説明したものです。

(中川信子著『ことばをはぐくむ』より)



ために大切なこと」をお話させ を使って「はなしことばが出る のお母さんに"ことば 当日は、参加されて

もの発育発達を確認したり、 や親子あそびを通して子ど の相談に応じたり

教

支

援

子

ども若者総

合

童 発

達

支援

ていただきました。 聴覚士が、この教室に参加させ センターの事業です。 今回、Palette から4 、た8人 ました。 ことなどにつ 会を受けて、 今後もこ きたいと思い

疑問に思ったことやもう一度聞きた

質疑応答や意見交換の形で行

部会」にお 参加された アップ研修を行いました。 15 保育協議会発達支援

ご希望がありましたら子ども までお問合せくださ

若者総合相談セン

子ども若者発達支援センター会報

パレット・レター

四国中央市子ども若者発達支援センター TEL 0896-28-6029 FAX 0896-28-6030 palette@city.shikokuchuo.ehime.jp



Palette またはパレット・レターに関するお問合せは上記まで。 パレット・レターの表紙になってくれるお子さんを募集します。 ご協力いただける方は、Palette の職員または上記までご連絡ください。







- 発 行 -















「工作教室」 を開催しました

・西部子どもホーム

ボトルや針金などを使って やじろべえ」を作りました。

耳を傾けながら集中して取は薦田先生のアドバイスに り組んでいました。 低学年は賑やかに、高学年 今回は東部・西部合わせて 人の児童が参加しました。

「やじろべぇ」を作り上げました。 ひとりが自由な発想で、 そして学年に関わらず、児童ひとり 表情豊かな

「新しい職員」を紹介します

勤務しています。として、浮田真弓(うきた・まゆみ)が 8月から東部子どもホ ームの指導員









フリータイムでは、今年度 Palette の隣りにある

「ギフトショップみすず」さんのご協力により、

「ラッピング教室」を開催しています。

東部子どもホーム

先生のお二人から、包装の仕 だきました。 飾の仕方なども教えてい 方やリボンのかけ方に加え て、複数のリボンを使った装 いただいた窪田先生と松尾 た

曲がっても大丈夫!という、先生の醸 し出す明るい雰囲気の中、とても楽し く教わることができました。 皆で一度作ったあとに、利用者さん 包装が緩くても大丈夫!リボンが

前回よりきれいに作れていたりする ことを先生に褒めもらい、利用者さん も職員も皆が元気をもらえる時間で 1回の経験でかなり覚えていたり、

した。

ました。

だけの復習の時間をとっていただき

がとうございます。 らご提供いただきました。本当にあり 教室で使った資材もみすずさんか









進んで、より本格的なラッピ まさんを作ろう!」から一歩 だった第1回目の「タオルく とになりました。 ングを教えていただけるこ 当日は、講師としてお越し 2回目となる今回は、好評